

独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センターにおける 電子資料の閲覧についての取り決め

（目的）

第1条 独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター 治験・受託研究審査委員会（以下、治験・受託研究審査委員会という。）における、電子資料の利用にあたって、電子資料の閲覧に供するセキュリティーUSBメモリー及び端末（以下、「端末等」という。）を治験に関わる業務（以下「当業務」という。）で使用するにあたり、遵守すべき事項等について定めることを目的とする。

（適応範囲）

第2条 当業務で端末等を使用するすべての者（以下「利用者」という。）に適用する。

2 電子資料の治験・受託研究審査委員会で閲覧に供する端末は当院が保有するノート型PC、場合によりタブレット型PCとする。

（端末等の管理者）

第3条 端末等の当業務に関わる管理者は、管理責任者とし、管理責任者は次の各号において責任を持つ。

- （1）利用者の本規定に従った端末等の使用
- （2）端末等の使用が適切でないと認めた利用者に対する使用禁止等の対応

（端末等使用の原則）

第4条 利用者は、原則、当業務においてのみ電子資料配布用のセキュリティーUSBメモリーを使用すること。

（遵守事項）

第5条 利用者は、端末等の使用について、次の各号に掲げる事項を誠実に遵守しなければならない。

- （1）端末等を丁寧に使用し、破損、紛失及び盗難等の事態が生じないようにする。
- （2）端末等に保存されたデータを、業務上必要のない第三者に閲覧させることや本体の貸与はしない。
- （3）利用者は、セキュリティーUSBメモリーに保存されたデータの消去、コピーや印刷、編集はしない。
- （4）治験・受託研究審査委員会終了後、速やかに運用責任者は、セキュリティーUSBメモリーを回収する。
- （5）治験・受託研究審査委員会終了後、速やかに運用責任者は、端末等の電子資料のデータを削除する。

- (6) 利用者は、端末等の使用に必要なパスワード管理を行い、故意・過失を問わず、第三者に漏洩してはならない。

(報告)

第6条 利用者は、次の各号に掲げる場合には、直ちに管理責任者に報告し、その指示に従わなければならない。

- (1) 端末等を破損、紛失した時、事故が起きた時、または盗難の被害に遭ったとき
- (2) パスワードが第三者に洩れた可能性があるとき
- (3) 端末等が正常に作動しなくなったとき
- (4) データの改竄・抹消、不正使用、ウイルスの侵入等、またはそれらのおそれのある事実を発見したとき

(附則)

この手順書は、平成25年8月1日から施行する。

平成30年9月1日病院名称変更による改正